

ゴミ投棄「渋滞原因」

海コン協会 行政にも対応要請



海コン協会の理事会

阪神港海上コンテナ協会（小西保美会長）は4月22日、兵庫県トラック総合会館で理事会を開き、神戸ポートアイランドの外周専用

道路のゴミ投棄がひどいとしてキャンペーンを展開することにした。海上コンテナドライバークラスにゴミ投棄禁止を呼びかける文書を配

布する一方、会員がボランティアで清掃作業を行う。

同外周専用道路は海コン車両しか通行しないことから、ゴミを投棄しているのは海コンドライバーとみている。このため、各会員事業所を通じてドライバーに投棄禁止を呼びかけるが、海コン協会では、ゴミ投棄は渋滞で長時間身動きできないドライバーの車内待機が原因で発生している問題だとして、根本的な解決に向けて行政に働きかける考えだ。

このため、小西部会長は、中央政界にパイプのある鳥居豊太郎氏

（野田屋運送）らとともに、港湾地区での海コン車両の渋滞解消に積極的に取り組むよう、大臣や国土交通省に直接働きかける準備を始める考えを示した。

兵ト協海上コンテナ部会などから求められている部会員の海コン協会自動加入問題については定款を変更し、既存会員以外は大ト協、兵ト協両海コン部

会の新規入会とは別に海コン協会への入会手続きも行うよう改める方針だ。

賦課金（協力金）の金額や出資根拠などについても兵ト協、大ト

協両海コン部会が再度折衝して打開策を探ること一致した。

役員改選については、全員留任の方向だが、新たに1人増員する案も出ている。